

平成25年10月長浜市教育委員会定例会 会議録

I. 開催事項

1. 開催日時

平成25年10月29日（火） 午後1時30分～午後2時10分

2. 開催場所

教育委員会室（長浜市内保町2490-1 長浜市役所浅井支所2階）

3. 出席委員

委員長	松嶋孝雄
委員（委員長職務代理者）	前田敏一
委員	桐山恵行
委員	井関真弓
委員	北川貢造（教育長）

4. 欠席委員

なし

5. 出席事務局職員

部長	中井正彦
理事	勝木俊次
理事兼教育総務課長	福井清和
教育指導課長	杉本義明
すこやか教育推進課長	平尾真弓
幼児課長	小川尚久
生涯学習・文化スポーツ課長	岩坪健一
文化財保護センター所長	森口訓男
長浜城歴史博物館長	片山勝
教育センター所長	勝城弘志
長浜図書館長	山内博司
長浜学校給食センター所長	山田隆司
教育総務課副参事	伊吹定浩
教育総務課主査	隼瀬愛

6. 傍聴者
なし

Ⅱ. 会議次第

1. 開 会

2. 議 事

日程第1 会議録署名委員指名

日程第2 会議録の承認

9月定例会

日程第3 教育長の報告

日程第4 協議・報告事項

(1) 陸上記録会の結果報告について

日程第5 その他

3. 閉 会

Ⅲ. 議事の概要

1. 開 会

委員長からあいさつの後、開会宣言があった。

2. 会議録署名委員指名

前田敏一委員、井関真弓委員

3. 会議録の承認

9月定例会

特に指摘事項はなく、9月定例会会議録は承認された。

4. 教育長の報告

教育長：4点について報告いたします。1点目は、児童生徒の休日等地域における文化活動、スポーツ活動についてです。先日芸能文化祭があり小学校2年生、6年生の児童が古典芸能である日本舞踊を披露し、多くの皆さんに感動を与えておりました。またスポーツ少年団の交流集会やいくつか柔道の大会などもあり参加いたしました。いずれも指導していただいている地域の皆さんの力を感じました。地域におけるスポーツ活動や文化活動が大きな役割を果たしているということを再認識いたしました。

2点目は、来年度の保育士の確保のために採用試験を実施し、最終的に経験3年未満の学卒者対象の新規採用といたしまして最終15人の合格者を出し、また経験者枠での合格者6名を合わせ計21名の合格としました。1次試験では3年未満の新規採用枠では63名の応募がありましたので合格者は約4分の1、また経験者枠

では18名の応募がありましたので合格者は約3分の1となり、大変厳しい門であったと感じております。一概には言えませんが、採用倍率はあった方がより力のある先生を採用できますのでいいのですが、次第に応募者が少なくなっており、もう少し採用試験のあり方も考えるべきではないかと思っております。当初予定していた合格者数より若干少ない人数となりました。

3点目は、平成24年度決算特別委員会が先般行われ、教育委員会にかかる決算につきましてはご承認をいただきました。

4点目は、全国学力・学習状況調査についてです。文部科学省は調査の結果の公表につきまして、現在は市町村別の公表はしない、学校別の公表については国、県教委、市町村教委もできない、学校は学校の判断で公表できると要綱で定められておりますが、10月21日付の新聞にこれを市町村教委の判断で学校別も含めまして公表できるような方向で検討を始めるとの記事が掲載されておりました。大きく変わる可能性が十分にあると感じました。新聞によりますと文部科学省は検討に入った理由として、何度か実施するなかで国民や社会の考え方も変わったと思われるので検討をすることになったとのことでもあります。滋賀県の教育委員会におきましては、新聞で公表されておりますように得点率が全国平均を下回ったとのことで、県教委は従来になく学力状況調査の詳細な分析について各地教委、各学校長へ指示を出しており、また県の教育長が要請のため全ての市町村教委を回られ、長浜市にも要請に来られました。その内容としましては今回の調査結果を受けて学力を高めるために様々な施策を展開してもらいたいとの要請でした。私の方からは県の教育長のご意向については承りましたとお答えいたしました。マスコミも注目している課題であり、10月初めに読売新聞社が県内13市の市長アンケートを行いました。長浜市長は一つの試験や調査で、子どもたちの学力を判断するのは早計過ぎるとの判断をしておられ、市町村別、学校別の公表につきましても学校の序列化や過度の競争を生むことが考えられるので、公表すべきではないとお答えになっておられます。また先週には京都新聞から教育委員会へ同様のアンケートがあり、現在の要綱では市の成績や学校の成績は公表できないことになっておりますが、市の教育委員会としてはそれは堅持すべきとお答えしております。その理由としましては、調査の目的である学習指導要領に則った児童生徒の習熟度をみて、そこにどのような課題があるのかを見極めることから外れ、過度の競争や序列化を生むことになりかねないため、従来通りでいいという理由と答えを出しております。全員参加の学力テストの必要性についてはどうかという項目がありましたので、これについては市教委は必要だと答弁をしております。必要である根拠につきましては、学習指導要領に準拠した形で問題が出されていることは間違いなく、我々は学習指導要領に則って授業を展開しておりますので、生徒の習熟度や教師の指導のあり方を検討する一つの調査として十分に活用できるとして、今後もこの学力調査は必要だと考え、参加をしていくつもりをしております。文部科学省や県教委の動向等々を注目しながら市教委としてもしっか

りと対応していきたいと考えております。以上です。

松嶋委員長：教育長の報告に対し、何か質問や意見はないか。

松嶋委員長：今の話のとおり学習指導要領に準拠した指導による成果がどのくらい上がっているかという結果がこの学力テストに出ていると考えられるが、学校現場で実際されている取組みが学習指導要領に準拠し、子どもたちの学力を高めるために有効であるとみてよいか。

教育長：私は教育長として各学校が学習指導要領に則って努力をしていただいていると考えており、特段学習指導要領から逸脱したり、あるいは極端に指導力が劣っているとかいった実態は学校にはないと認識しております。

その他質問や意見はなかった。

5. 協議・報告事項

(1) 陸上記録会の結果報告について

すこやか教育推進課長が資料に基づき説明した。

井関委員：子どもたちはこの日のために一生懸命に練習してきたと思う。当日はたくさんの方の保護者が見えになっていたし、子どもたち自身も学校の代表として一生懸命走っていた。その結果、実は100mではなく110mであったということで先生に対し不信感を持った児童もいたのではないかなと思う。ミスというのは誰にでもあり得ることだとは思いますが、そのミスを未然に防ぐためのチェック機能であるとか役員の分担など運営について、これで良かったのかの検証と報告をしていただきたい。来年度以降、このようなことが二度と起こらないように教師も気持ちを引き締め運営にあたっていたいただきたい。

すこやか教育推進課長：この陸上記録会は長浜市小学校体育連盟（以下「小体連」）が主催となって実施しており、再度小体連にはこのようなご意見があったことを伝えさせていただきたいと思います。当日の夜、ミスが発覚した後すぐに集まっていたいただき、対応について協議し、このような結果が出たことの検証も行っていたいております。次回からこのようなミスが起こらないようにするにはどうすべきかについても十分検証していただきまして、職員一同気を引き締めてやっていきたいとの報告を受けております。

松嶋委員長：この件で今後ミスがないように気をつけることはもちろんのこと、小さなミスが大きなミスを招き日々の子どもの命に係わることに繋がらないよう、安全安心を第一に様々な取組みへの配慮をお願いする。

北川委員：教育委員会の対応についてですが、この大会は小体連が実施しているもので、教育委員会はバスの手配や連絡など児童の参加体制を整える役割を担っております。ミスが発覚しました翌日に私のところにも報告がありました。記録を計測し出場者を決定する予選会のようなものを各学校で開催しており、この時の記録で代替しようかという話もありましたが、教育委員会としては再度バスの配送や会場の確保もするので再レースをするよう強く申しあげました。昨日何と

か再レースも終わり、記録を集計しているところです。井関委員おっしゃる通り、子どもたちはこの大会に賭けてきています。子どもたちにとってはオリンピックのようなものですので、子どもたちの気持ちに添いしっかりとやっていただきたいと言いました。検証については既に行っていますが、再レースも終了しましたので、再度小体連に申しあげたいと思います。

7. その他

(1) 感染症の対応について

幼児課長が口頭で説明した。

松嶋委員長：子どもたちが安全安心な環境で園生活がおくれるよう、衛生管理の徹底をお願いします。

(2) 南郷里公民館の竣工式について

生涯学習・文化スポーツ課長が口頭で説明した。

(3) 台風による臨時休館について

長浜図書館長が口頭で説明した。

8. 閉会

委員長から、本日の委員会会議が全て終了した旨の発言があり、閉会の宣言があった。